

■会長メッセージ

NPO 法人北九州テクノサポート
会長 影山 隆雄

当 NPO 法人の歴史は、鉄冷え後の地域経済復興を目指した当時の北九州市長の末吉興一氏と第三セクターの(株)北九州テクノセンター社長の迎 静雄氏(元九州工業大学学長)の発案により、1995年7月に発足した任意団体テクノサポート会(TS会)が始まりです。TS会は、北九州において高度技術を有する定年退職者(OB)を地域の貴重な人財として中小企業の産学連携による技術の高度化や新製品開発のコーディネート業務に役立てたいとして組織化したものでした。

2003年4月にNPO法人化され、経験豊かで豊富な知識・技術・人脈を備えたシニア世代の意欲溢れる有志がその専門技術を社会に役立てたいとの願いをバネに、地域の企業、公私の組織・機関の技術を中心にしたニーズに対応しています。その領域は、経営、技術開発、人材育成、販売、IT技術活用、環境保全、新事業の創出等の幅広い技術課題に対して調査、教育、指導、産学官連携促進など行っています。また、公的機関への政策提言活動など地域の活性化に寄与しています。

組織は、個人会員と企業の賛助会員で構成され、現在、7分野の支援グループを結成し活動しています。これまでの主な活動は、北九州市・福岡県をはじめとする自治体や大学・公設機関からの委託事業として北九州地域産業人材育成や展示会ビジネスマッチングのコーディネート、企業からの技術関連の相談対応、技術・経営相談対応・販路開拓支援などがあります。また、主力事業活動の一つに環境省制定の中小企業環境経営システム(エコアクション21)の普及と第三者認証の拠点となるエコアクション21地域事務局環境未来の運営があります。本事業は2020年に山口県を中心に活動していたNPO法人環境奇兵隊と合併し、地域の中核事務局の認定を受け、普及活動を幅広く展開しています。認証取得の相談窓口、審査申請の受け付けや審査人の紹介、認証登録の判定委員会の運営等を行っています。

本法人では定例の理事会を開催し、技術支援サービスの方針策定やグループ横断的な活動を推進しています。会員の勉強会や相互交流会も開催し、会員の有する多様な力を積極的に受け止め活躍の場を広げるように努めています。構成メンバーは70名を超え、それぞれ多彩な専門技術を有するプロフェッショナル集団です。入会を希望される方はお気軽にご相談下さい。

2023年には法人化20周年を迎え、新技術・新製品開発を通じた付加価値の拡大やデジタルトランスフォーメーション(DX)など新たな時代の中小企業のニーズに対応した支援が出来るよう、学び直しで最新の技術も取入れながら体制強化を進めております。

皆様方のご支援・ご活用をよろしくお願い申し上げます